

提出年月日： 令和元年 9 月 9 日

提案団体名： (一社)スマートシティ・インスティテュート

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
■スマートシティに関連する有識者をエグゼクティブ・アドバイザーとして招聘し、その知見を社団法人の各種活動に活かす ■設立発起人である三菱UFJリサーチ & コンサルティングが中央省庁・自治体等からの調査・研究の受託(シンクタンク事業)や民間企業向けコンサルティングで培ったさまざまな社会課題や課題解決のための政策に関するノウハウ・知見や、デジタルガバメント、スマートシティに関する海外とのアライアンス等を通じた先進的な知見を、社団法人の活動を通じて還元 ～官公庁からの受託実績(https://www.murc.jp/solution/public/results/?y1=2014&y2=2020&s1=0&b1=&b2=&fw=) ～エストニアe-Governance Academyとの覚書締結(https://www.murc.jp/publicity/news_release/news_release_181022/) ～フィンランドHAUS Finnish Institute of Public Managementとの覚書締結(https://www.murc.jp/publicity/news/news_190809/) ～フィンランドBusiness Finlandとの覚書締結(https://www.murc.jp/publicity/news/news_190822/) アクセンチュアとスマートシティのさらなる推進に向けて共同提案を開始(https://www.murc.jp/publicity/news_release/news_release_190329/)	(7)

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
■海外におけるスマートシティの先進事例等の情報・ノウハウ等をさまざまな形で会員企業、自治体に対して提供し、課題解決に貢献 ①大規模フォーラム～スマートシティをテーマとしたフォーラムを年2回程度開催 ②会員限定セミナー ③海外視察研修～スマートシティの先進事例の視察研修を年数回実施 ④海外先進事例調査	(ア)(イ) (ウ)(エ) (オ)(カ) (キ)(ク) (ケ)(コ) (サ)(シ)

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
SCI-Japan事務局	土屋英敏	03-6733-1657	h.tsuchiya@murc.jp